



株式会社 Community Care

中澤ちひろ 安達弓恵




Community Care

地域課題 × ビジネス × 暮らし
地方から創る新しい“働き方”の提案。
わたしたちのチャレンジが始まっています！

株式会社Community Careとは？

UIターン看護師3人から始まった 地域医療課題への**チャレンジ**！！



安達 弓恵
広島からJターン

古津 三紗子
東京からJターン

中澤 ちひろ
神奈川からIターン



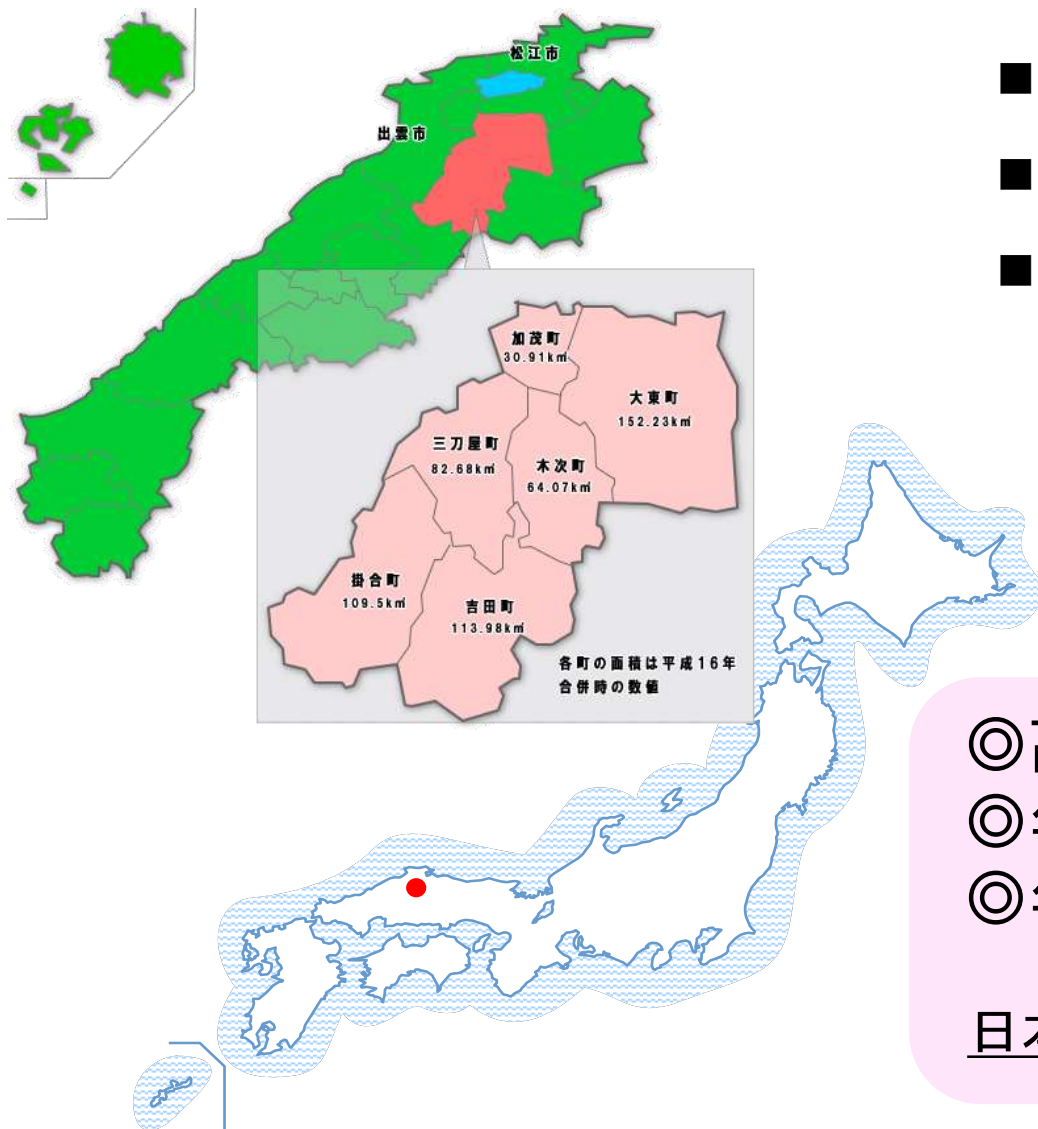
病院には、帰りたくても帰れない人達がいた

今度は、病院の外から地域でできるだけ長く暮らせる環境を作り、その人らしく生きるを支えたい



住み慣れたところで好きなことが続けられる、治療と健康管理でその人らしさを護る





- 人口 39,032人
(平成27年国勢調査)
- 世帯 12,527世帯
(平成27年国勢調査)
- 面積 553.4km²
(東京23区の約9割)



市域の大半が林野

- ◎高齢化率 36.5%(H27)
- ◎年少人口割合 11.8%(H27)
- ◎年間500人ずつ人口減

日本の25年先の人口構成と同じ！！



チャレンジの町 雲南市

子ども × 若者 × 大人 チャレンジの連鎖による 持続可能なまちづくり



平成27年度の取り組み状況



地元NPOの支援を受け、地域医療の課題解決にチャレンジ！



在宅医療資源が不足している！

超少子高齢化社会

- 高齢化率36.5%
- 要介護度が全国と比べ高い
- 老老介護、独居老人の増加
- 家庭での介護力の低下

若手医療職種の不足

- 訪問看護ステーションの閉鎖と訪問看護師不足：H26時点で人口1万人対1.9人（全国は3.2人）
- 開業医の後継者がいない
- 開業医の高齢化に伴い
往診医がいない地域がある

地理的な問題

- 車などがないと医療機関へのアクセスが悪い
- 山間部に集落が点在し、訪問系のサービスは非効率

このまま
行くと

- ◆ 社会保障費の高騰
- ◆ 担い手がいないため地域医療の崩壊
- ◆ 住まう場所として選ばれない土地に



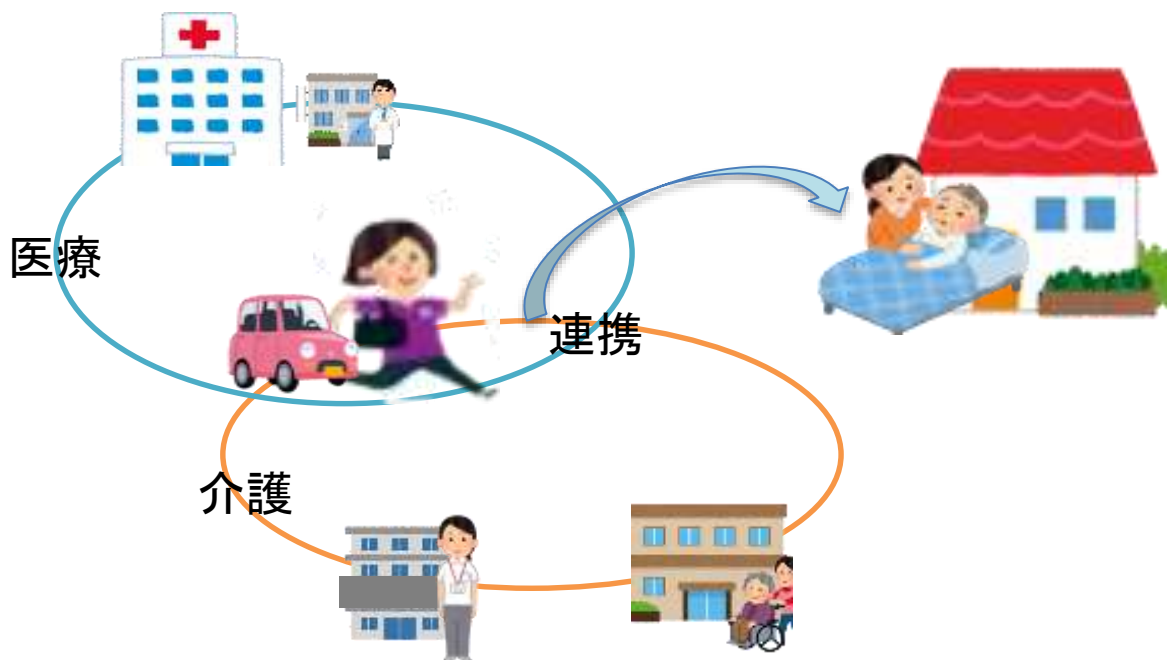
在宅医療の空白地帯！



在宅医療を支える訪問看護とは？

訪問看護とは、看護師がお宅に訪問して、その方の病気や障がいに応じた看護を行うことです。健康状態の悪化防止や、回復に向けてお手伝いします。主治医の指示を受け、病院と同じような医療処置も行います。自宅で最期を迎えたいという希望に沿った看護も行います。

(日本訪問看護財団HPより引用)



対象は高齢者から乳幼児まで
幅広い方の在宅医療を支えます

中山間地域では、人材不足や訪問効率の悪さからなかなか広まっていない



地域を知ろう！地域の声を聞こう！

本当に訪問看護必要なのか？！

看護師として地域で活動する潜在的ニーズがあった！

訪問看護があれば使ってみたい



昔は家で看取ったもんよ



みんなが集う場所が少ない



健康の知識を知りたい



高齢化で次の担い手がない

高齢者サロン活動の内容に困っている





働く
働き方を
提案・実践

中山間地の訪問看護にチャレンジ！



持続可能な地域医療を目指して3つの活動

訪問看護事業

在宅医療を守る



その他事業

若手地域医療
ネットワーク
構築



地域住民と
一緒に健康な
まちづくり





H26年7月1日

訪問看護ステーション**コミケア**開設！

目指す姿

みんなでつくる「幸せな人があふれるまち」

理念

たくさんの幸せな瞬間をプロデュースする

行動規範

- ▼チームを創造する
- ▼セルフケアを向上する
- ▼柔軟な働き方を実現する



在宅医療空白地に在宅医療を！！

中山間地域でも、家に帰る選択肢を

就業している看護師の中で訪問看護師の割合はわずか3%。
訪問看護師の平均年齢は48.5歳、15年後には多くの訪問看護師が引退します。超高齢化社会を迎え、担い手となる訪問看護師の育成が必要です。

①経営支援と教育支援を受け、若手看護師が訪問看護を提供できる体制づくり

②ICTの活用で訪問効率の悪い立地でのサービス提供の効率化



訪問看護で在宅療養という選択肢が増えた

- 利用者総数 182人
- 現在80人（介護70%、医療30%）
- 在宅でのお看取り 21件

やっぱり家って
いいね！！



持続可能な地域医療を目指して3つの活動

訪問看護事業

在宅医療を守る



その他事業

若手地域医療
ネットワーク
構築



地域住民と
一緒に健康な
まちづくり



若手医療ネットワーク構築

①若手医療・介護の輪を広げ、みんなで地域医療を担う

中山間地域では、20-30代の働く若者世代が流出しています。**施設・職種・地域を超えて**若手医療・福祉・介護が地域医療というキーワードで繋がり、学び合い、お互いに**協力しあえる関係づくり**を目指しています。



介護施設で勉強会を開催



きらきら地域医療カフェ@うんなん



若手医療ネットワーク構築

②地元の学生へ地域医療の魅力を発信する

日本の中山間地域は約7割。少子高齢化で医療・介護の問題が大きくなっている中山間地域こそ、日本の医療の最先端。学生の中にも一旦は外に出るが、地元に戻って働きたいと希望する人も増えてきている。



2～3ヶ月に1度、地元の高校などへ出張講義



持続可能な地域医療を目指して3つの活動

訪問看護事業

在宅医療を守る



その他事業

若手地域医療
ネットワーク
構築



地域住民と
一緒に健康な
まちづくり



地域住民と一緒に健康なまちづくり

①地域住民と考え、実行する地域の健康なまちづくり活動

地域自主組織と共同し、健康づくり事業。住民が主体となり、通いの場作りに発展。



現在3地区に活動が展開



地域住民さん、行政と協力して、まちづくりチャレンジ中！



平成27年、株式会社Community Care設立 3人から始まったチャレンジは、8人に拡大！



県外からのUターン3人・Iターン2人、市外から2人
職種：看護師、助産師、療法士、事務員

柔軟な働き方でキャリアと生活を築く



ワークライフミックス

働く - 生活 - 趣味

地域の関係性
の中で暮らす





これからも



たくさんの幸せな瞬間を プロデュース！

